

## 目指せ！持続可能な社会の担い手を育む教育の実践

## ～ユネスコ世界ジオパークとともに～

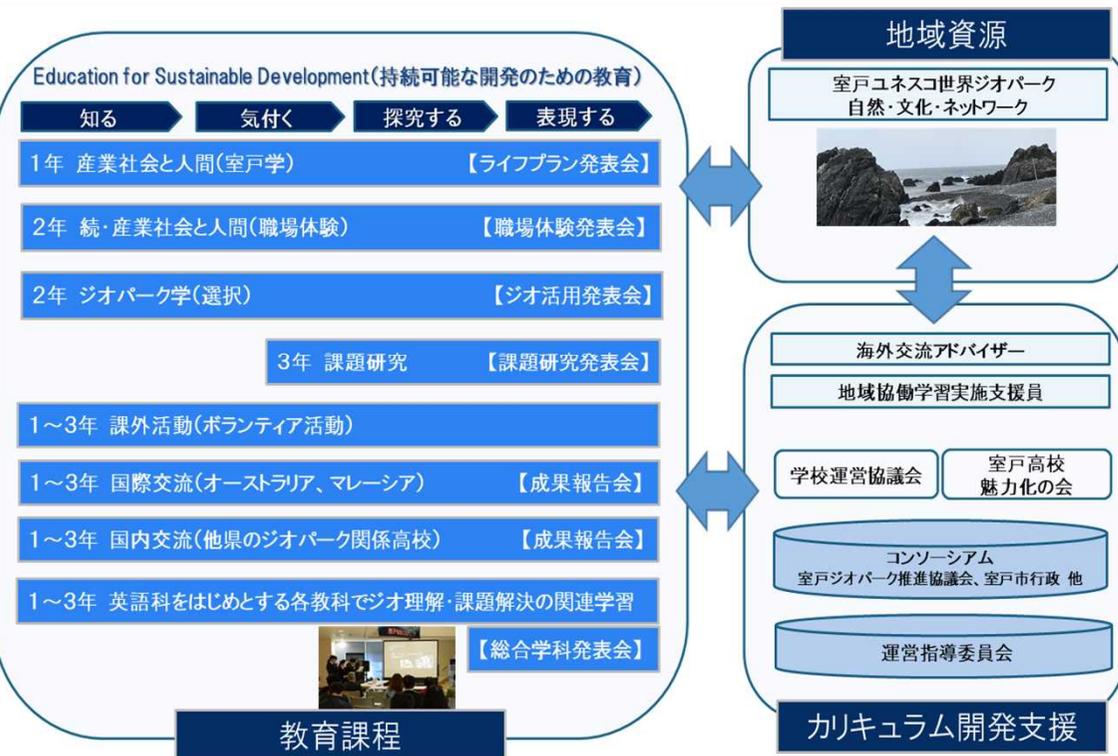
## 研究開発の背景

本校が位置する高知県室戸市においては少子高齢化が急速に進み、将来、地域を支える人材育成が喫緊の課題である。室戸地域が、室戸ユネスコ世界ジオパークに認定されていることを生かし、その資源を有効活用し、国内外の様々な地域と関わる機会を提供することによって、グローバルな視野で物事を捉え、地域の課題を解決できる資質を持つ人材を育成する。

## 実施体制

キャリア教育に関わる特色ある科目の取組を発展させ、人とのつながりの深化、地域貢献、地域課題解決学習を行うため、コンソーシアムを組織するとともに海外交流アドバイザー等の配置や他組織との連携強化によってカリキュラム開発に取り組む体制をつくった。また、室戸ユネスコ世界ジオパークの素材、人的ネットワークを活用し、国内外の高校との交流を生徒が積極的に活動する機会を増加させた。

## カリキュラムマネジメント 世界的な視野を持って地域で活躍できる人材育成



## 令和元年度の目標

- 地域との協働による探究的な学びを実現する学習を充実  
「産業社会と人間」「課題研究」など
- 地域行事への参加等、すべての教育活動により、地域を活性化し、地域の期待に応える
- 国内外の世界ジオパーク認定地域の学校間との交流拡大
  - ・地元ジオパークの世界ジオ認定に寄与
  - ・さまざまな地域の生徒と関わり、グローバルな視点を持たせる

## 取組状況

- ・地域の外部講師と協働で特色ある科目の授業実践と授業改善  
カリキュラムの見直し
- ・地域の依頼や自主的活動により85%の生徒が地域貢献活動に参加
- ・口加高校、糸魚川白嶺高校マレーシア・ランカウイ高校などジオパークに関係する高校と交流し、地域振興について意見交換する機会が増大
- ・生徒の成果発表も場も拡大

## 成果と課題

室戸ユネスコ世界ジオパークの資源である自然、人材、グローバルネットワークを生かし、授業改善や国内、海外交流の場の拡大、成果発表の場提供を行った結果、生徒の英語の学力向上、地元に関する関心・意欲の高まり、地域貢献活動等、自ら行動しようとする姿がみられたことが大きな成果である。今後、できるだけ多くの生徒に地元、国内、そして国外の交流活動に参画する機会を与え、課題解決能力を高めることができるように、今後もカリキュラムを見直していく必要がある。